

クラフトビールが熱い！

年末年始になると忘年会や新年会などで、お酒やビールを楽しむ機会が多くなるのではないのでしょうか？

最近では世界のクラフトビールを提供する飲食店も増え、日本各地の地ビールがインターネットで手軽に購入できるなどクラフトビール（地ビール）が身近な存在になっているように感じます。そこで、今回はミシガン州のクラフトビールに関するお話をしたいと思います。

ミシガン州は豊かな自然に恵まれた土地柄から農業が主要産業のひとつ（自動車産業だけじゃないんですよ！）で、ビールの原料であるホップ栽培は全米 4 位の生産高を誇っています。ビール産業全体も緩やかに成長を続けていますが、その中でも近年クラフトビールが急成長中。州内のビール醸造所は 300 以上あり、その多くは併設するパブやレストランで自慢のクラフトビールを提供しています。新鮮なクラフトビールを求め醸造所巡りを旅の目的とする観光客「ビアツーリスト」も急増しているのだとか。

特にグランドラピッズ市（近江八幡市の姉妹都市）は、全米で発行されている情報紙 U.S.A Today が行った調査で「全米 No.1 ビアシティ」に輝くほどビール産業が盛んで、毎年 40,000 人以上のビアツーリストが訪れています。

この盛り上がりを支えているのが、州内の醸造者らで構成される Michigan Brewers Guild(ミシガン醸造者組合)です。1997 年に 30 社で設立され、2013 年に 100 社を超え、2018 年には 270 社のメンバー数となっています。年 4 回の大ビール祭り開催や新規参入者のサポートなど幅広く活動されています。♪The Michigan Beer Fight Song ♪(<http://www.mibeer.com/fight-song>)という応援歌まであります！

駐在員が良く利用する地元スーパーでも数えきれないほどのクラフトビールが陳列されており、店員さんによると、時期や店舗によって商品は変わりますが、約 60 社 500 種類のクラフトビールを扱っているとのこと。伝統製法によるホップの苦みのきいたビール、ハーブやスパイスを使った季節限定ビール、リンゴやベリーなどを用いたフルーティーなビール、さらにはチョコレートやコーヒーを原料に含んだユニークなビールまで千差万別。個性的でお洒落なラベルを見ているだけでも十分楽しめます。

日本に輸出されているミシガン産クラフトビールもありますので、ぜひ探してみてください。



味もラベルも素敵なクラフトビールのほんの一部



趣味がビール造りのパトリックさん JCMU スタッフ)
ラベルも自作！